

編集後記

この度、平田 仁先生の後任として『整形・災害外科』の編集委員を担当させていただくことになりました。本誌とは2018年9月号に「Personal View」で執筆する機会をいただいたときからのご縁となります。多様な視点からの特集に加え、投稿論文も積極的に受け入れているのが本誌の大きな特徴であり、新規医療の紹介の他にも時勢や流行に関する連載随筆など、専門知識の吸収以外に純粋に読み物として楽しめる要素も含まれています。伝統ある本誌の名を汚さぬよう、魅力的な内容となるべく努力してまいりますので宜しくお願い致します。

さて2020年から始まった新型コロナウイルス感染症ですが、米国ではパンデミック終結宣言も出され、ようやく出口が見えてきた感があります。今年も大谷翔平選手の活躍が報じられ、日本人として嬉しい気持ちですが、画面を通してみると野球観戦する現地の人々が誰一人としてマスクをしていないのが気になります。我々日本人はいつマスクを外すのか？「外しても安心とする科学的な根拠が示されたら」「お上からお墨付きが出たら」ではおそろくないでしょう。「周りが外し始めたら」が一番の理由になるのは間違いありません。人と同じ行動をとることで安心する日本人の特徴が、このコロナ騒動を通して浮き彫りになった感があります。しかしながら、時代は大きな変革期を迎えつつあります。ゼロ金利政策が続き、給料が上がらない代わりに物価も上がらず、インフレが進む世界を他人ごととして平穏無事に過ごしていたところで、今年

に入ってから急激な円安が進み、物価も上昇して国民生活の逼迫が取り沙汰されるようになりました。この令和の世においても日本は実は鎖国に近い状況であったことに驚かされますが、そういった意味では、江戸末期の開国後約170年経った現在でも国内での根回しや調整に翻弄され、海外の動向には無関心な日本人の本質はあまり変わっていないのかもしれません。「泰平の眠りを覚ます上喜撰（蒸気船）、たった四杯で夜も眠れず」は遠い昔の話ではないようです。

本号の特集では合併症の低減と早期回復を目指した寛骨臼骨切り術をテーマに名越 智先生にご企画いただき、spherical periacetabular osteotomy (SPO)、寛骨臼回転骨切り術 (RAO)、寛骨臼移動術 (TOA)、curved periacetabular osteotomy (CPO)、偏心性寛骨臼回転骨切り術 (ERAO) など様々な術式の工夫について9名の専門家の先生方に解説していただきました。最近では術中ナビゲーションシステムの登場により正確な骨切りと手術侵襲の低減が可能となってきましたが、その限界についても本文で触れられています。やはりナビを100%信頼するのではなく、その不具合や誤りを術中に察知できるよう、姿なきものを見る力を養うこと、すなわち視覚だけに頼らずに指先などの感覚を通して、三次元的な外界空間を脳内で再構成する「空間知覚」を養うことは大切であり、外科医としてなおも必要なスキルであるように思いますが、読者の皆様はどうお感じでしょうか。

(谷口 昇)

「整形・災害外科」第65巻 第13号 (12月号) 2022年12月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 2,860 円 (本体 2,600 円 + 税 10%) 年間購読料金 定価 44,660 円 (本体 40,600 円 + 税 10%) 〔年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村 直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
---	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。